月　日 名前　　／100点

【小4】国語 文章問題　説明文 4

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

「かぎはどこに置いたかな。」出かける前に、家じゅうをさがし回った人は多いでしょう。わすれものやさがしものは、どうしたらへらせるのでしょうか。

さがしものがふえるのは、ものを置く場所が決まっていないからです。帰ってきたとき、かぎをつくえの上に置く日もあれば、ポケットに入れたままの日もあります。すると、次に使うとき、どこを見ればよいのかが分かりません。頭の中で、その日のことを一つ一つ思い出さなければならないのです。

そこで、ものごとに「帰る場所」を決めてみましょう。かぎは入り口のフックにかける、ハンカチはつくえの右の引き出しに入れる、というように決めておくのです。そうすれば、さがすときに思い出す必要はありません。決めた場所を見に行くだけですみます。

ただし、決めた場所がつかいにくいと、長つづきしません。遠い所や、あけるのに手間がかかる所だと、ついそのへんに置いてしまいます。帰る場所は、そのものを使う所の近くで、かんたんに出し入れできる所にするのがこつです。

ものの帰る場所を決めることは、自分の頭の中を少し軽くすることでもあります。覚えておかなければならないことがへれば、そのぶん、ほかの大切なことに頭を使えるようになるのです。

（この問題のための書き下ろし）

問一　さがしものがふえるのは、何が決まっていないからですか。「～が決まっていない」につづくように、本文から十字までで書きぬきましょう。

問二　「ものごとに『帰る場所』を決めてみましょう」とありますが、「帰る場所」とはどんな場所のことですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　家の人が、外から帰ってくる入り口。
イ　そのものを、いつも置いておくと決めた場所。
ウ　わすれものを、学校にとどけておく所。

問三　ものを置く場所を決めておくと、なぜさがしやすくなるのですか。「思い出す」という言葉を使って、三十五字までで書きましょう。

問四　筆者が最後のまとまりで言いたいことは何ですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　かぎは、いつもポケットに入れておくのがいちばんよい。
イ　わすれものをしないように、毎日かばんの中を何回も見るとよい。
ウ　ものの帰る場所を決めると、覚えることがへって、頭をほかの大切なことに使える。